

県央経営者会第17回例会が海老名で開催される！

■日時 平成20年9月8日(月)
■会場 オークラフロンティアホテル海老名 ラ・ローズ
■運営・進行担当 海老名・座間・綾瀬地区

去る9月8日(月)に、県央経営者会の第17回例会が、海老名のオークラフロンティアホテルで開催されました。当日は、松沢県知事の講演とトークがあり、会員はもちろん商工会議所関係者やロータリークラブ、ライオンズクラブの会長・会員、JCの若手経営者も多数参加し、110名収容の部屋に立ち見が出るほどの盛況でした。

総合司会は、海老名地区の久保田 英賢氏が担当し、市川 稔氏の開会宣言で例会が開会されました。次に、大泉 政治会長の挨拶と、招待者・顧問の紹介があり、代表して伊勢原市長の長塚 幾子氏より挨拶がありました。

この後、知事の著書である「破天荒力」を映画化したDVDが紹介され、映画の一端を知ることが出来ました。DVDが終了するといよいよ

松沢知事が登壇し、「破天荒力」とそれに関連する講演があり、予定の40分をはるかに超える熱の入れようでした。この講演のあと、県央経営者会の研究成果である「県央湘南アクアシティ構想」とそれに関連する問題提起が3名の委員長から発表されました。

まず、県央経営者会が昨年「県央湘南アクアシティ構想」を立ち上げましたが、この構想の推進委員長である増田 健治氏がその内容を説明し、交通利便性向上検討委員会委員



河野太郎衆議員



松沢神奈川県知事



伊勢原市長



小林厚木市長



長吉村 保典氏が「県央地域の交通利便性向上について」というテーマで、交通網のシームレス化について発表しました。最後に「横箱ロマンズスカーププロジェクト」実行委員長飯田 隆三氏がその検討内容を発表しました。これらの構想に対して、松沢知事は現状での難しさはあるが将来必ず県央の地域が発展するし、そのときのためにこういう考え方を発表することは大変意義のあることと評価され、海老名・座間・綾瀬地区の会員にとっても、これからさらに活動に力が入る、意義ある例会となりました。

例会は、磯部 芳彦氏の閉会宣言により無事終了し、隣の宴会場での懇親会に移りました。

県央経営者会第十七回例会 特別講演 「神奈川力」と「破天荒力」について

神奈川県知事 松沢 成文氏



を發揮して、もつともつと魅力のある地域にしていこうではありませんか。そのためには、二つの力が必要です。それは、①先進力と②協同力だと考えています。先進力とは、国を変えていく力、例えば情報公開、環境アセスメントなど先進的な事例を作っていく力、協同力とは官も民もみんな協同して新しい町を作っていく、新しい価値を創造していく力だと思います。だから神奈川力とは質の面からいえば「先進力+協同力」ということが出来ます。これらがしっかりやれば、神奈川県はもつともつと発展すると確信しています。

「破天荒力」とは

松沢知事は、県知事に当選して2期目に入り、非常にお忙しいなか寸暇を借しんで調査・研究された成果である著書『破天荒力』を昨年6月に上梓されました。この著書のなかで、明治時代に箱根で活躍した経済人の侍スピリッツというものを、現代の経営者への手本として示されています。経営者の皆様はぜひこの書籍をお読みいただき、経営の参考としていただきたいと思えます。以下に当日の講演内容の概要を記させていただきます。

「神奈川力」とは

神奈川県には、他地域にはない潜在力があります。歴史、伝統、文化に培われた力は、日本を常にリードしてきました。神奈川県は全国の都道府県の中で5番目に小さい県ですが、その中に大都市もあれば豊かな自然環境もそなえています。このような地域は他にありません。これも神奈川の力です。そしてその潜在力

神奈川県内を回っているいろいろなことを知りました。

それは神奈川の各地に特有な歴史が残されていることであり、この歴史を勉強して将来の世代に伝えていくことが大切だと考えています。神奈川県では、県立の高校で日本史を必修科目にしました。特に現代史が最も大切と考えています。それに郷土史も大切です。この日本史を必修にすることは神奈川県が初めてやりました。このことによつて、日本を変えていくきっかけになると思っています。

「破天荒力」を書くことになったのは、知事になって一年目に富士屋ホテルに泊まって、その部屋に「富士屋ホテル小史」という冊子があるのを見つけたことです。その中に、山口仙之助という福沢諭吉の弟子であり、東洋と西洋の思想を併せ持った「奇妙人」がいたこと。その当時としては最も先進的な西洋式ホテル富士屋ホテルを創業し、箱根を一流のリゾート地にした一人でした。そして、福住旅館の主で、二宮尊徳の高弟として、報徳思想を広めた福住正兄と山口仙之助

が出会い、二人が協力して箱根をという地に道路を拓き、水力発電設備を設置し、とうとう国府津から箱根湯本まで鉄道を敷いてしまったのです。それも自分たちの知恵で、自分たちのお金を出し合い、自分たちの力で行ったのです。官の力など何も頼っていません。まさしくこれは「破天荒」な力といえます。

二宮尊徳の大事にした理念「経済道德論」は、経営者は金儲けを目的にしたらそれで終わり、そうではなくて利益を生むことで社会全体が豊かになることになげられなければならない。ということ、この二宮尊徳の「報徳仕法」という思想は、明治以降の日本を代表する経済人の多くから称賛されました。例えば、渋沢栄一であり松下幸之助であり土光敏男であると思えます。

知事として取り組んでいる課題について

自分は知事として「マニフェスト改革」を目指しています。そしてその実現のため必死で努力しています。いま多くの政治家が約束したことを守らないし、守ろうと努力しません。これでは政治の危機と言われなくても仕方ありません。

最近取り組んでいる「禁煙条例」は私のマニフェストで約束した条例です。この条例について多少誤解があると思います。これは受動喫煙を防止するための条例で、そのためには社会を分煙化するにはどうしたらよいか。神奈川から新しいルール作りを目指しています。これからさらに多くの県民の皆様からご意見をいただき、どうしたら分煙化が出来るか検討していきたいかなければなりません。

(参考) 松沢 成文著『破天荒力』講談社

知事と語ろう 県中央経営者会の研究成果発表

「県中央湘南アクアシティ構想」について



県中央地域の交通利便性向上について

交通アクセス向上検討委員長

吉村 保典氏

県中央経営者会は、発足以来一貫して県中央地域が経済的發展をするためには、鉄道網のシームレス化を実現することであると主張してきました。特に、小田急線と相鉄線の相互乗り入れ、並びにJR相模線の複線化と藤沢方面への延伸を提案してきました。県中央地域の交通利便性の向上は、アクアシティ構想の中にあつて具体的な問題提起であり、今後も県中央経営者会の重要な研究課題として継続的に活動していく予定です。

「横箱ロマンスカープロジェクト」についての提言書

横箱ロマンスカープロジェクト実行委員長

飯田 隆三氏

このプロジェクトは、小田急線と相鉄線の相互乗り入れを進めるうえでどのような方策をとれば、地域住民と鉄道事業者の同意が得られるかを研究するために発足しました。そして、まずロマンスカーを横浜から箱根まで走らせることを目標に、昨年プロジェクトを立ち上げました。今年に入り5月には、県庁の交通企画担当課長坂井信治氏をお招きして、県中央地域の交通体系について詳しいお話をうかがい、厚木市、伊勢原市、秦野市の担当者にも参加していただき、活動を開始しました。今後は、さらに海老名市、横浜市、箱根町の担当者も交えて必要な手続きを経て、国への働きかけも視野に入れた活動を推進していく予定です。

○以上の発表に対する松沢知事の評価

地域の発展のため、地域住民の皆さんが議論してま

での発表に対して敬意を表します。

① 相模川リバーサイドサミットについて…相模川は他県にもまたがるので、神奈川県だけの管理にならない。いままでも同じ扱いになります。ただし、道州制になれば変わるだろう。市町村の連携は必要なことですが、同時にライバルの関係にあるので難しい面がある。

② 交通のシームレス化について…鉄道事業者は民間企業であるので、自分の会社の利益にならなければ動かない。また、もともと民営の鉄道会社とJRでは対応が違うだろう。JRはネットワークの発想であり、民営会社は線で商売しているの、それぞれの対応とライバル会社同士の利益確保が出来るかが難しい。この点が今後の研究課題ではないか。

③ 「第2ツインシティ」について…この発想は大変面白いが、現在検討中の「ツインシティ」は大変お金がかかることが予想される。現在の財政では、公共事業は軒並み予算カットせざるを得ない状況である。そのような中でどう進めるか、地域住民の負担がどうなるか考えなければならぬ。

④ リバーバスの問題…現在の相模川は水量が少なくなっているからどう船を走らせるのか。船底の浅い船では大勢は乗れないし、もう少し研究すべき点があると思う。

⑤ 「横箱ロマンスカー」について…このプロジェクトは実現可能性が高いと思う。今後あきらめずに研究していけばよいのではないか。

最後に、いままでも否定的な指摘をしましたが、県中央地域は今後十年の間に間違いなく最も変わる地域になると思う。その点はずきりしている、地域全体の発展のため、厚木市も伊勢原市も秦野市もそして海老名市も協力して、皆さんのいろいろなアイデアを出し合い、行政や県に提案していただきたい。今後とも活発な活動を期待しております。

まず「県中央湘南アクアシティ構想」の全体像について、増田委員長から発表がありました。この構想については、すでに会報でも報告し、委員会を開催して委員の方々から多くのご意見をいただきましたが、まだまだ荒削りな構想です。しかし、この機会に現時点で集約したものを発表し、松沢知事の評価をいただくというところで発表させていただきました。内容は以下の通りです。

「県中央湘南アクアシティ構想」の全体像

県中央湘南アクアシティ構想検討委員長

増田 健治氏

一 全体構想の考え方

- ① どうしてこの構想が生まれたか
- ② 「県中央湘南アクアシティ構想」の概要
- ③ 県の構想とのリンク

二 県中央経営者会の提案

- ① 県中央湘南アクアシティの中央口を作る
- ② 相模川を活かした、リバーバスの路線を考える
- ③ 相模川リバーサイドサミットの開催

掲示板

会社紹介

この掲示板では会員の方の会社を紹介しております。会社案内、イベント案内など何でも掲載OKですので、是非、あなたの会社もPRしてみたいはかがでしょうか！。掲載無料ですので、ご希望の方は事務局までご連絡ください。



当社は、「神奈川県子ども・子育て支援条例」に基づき、神奈川県内の薬局では初の同支援推進事業者として、神奈川県知事より認証を受けました。



あい薬局 座間駅前本店
〒228-0024 座間市入谷5-1684-3
TEL 046-255-1001 FAX 046-255-6655
あいサービスセンター
〒243-0432 海老名市中央1-9-18
TEL 046-234-7849 FAX 046-233-6856
株式会社C&B(あい薬局グループ)
代表取締役 **金 俸基**



神奈川県
土地家屋調査士会



(有) 高澤事務所

住所 厚木市愛甲 463 番地
代表 高澤 孝一

測量・登記・土木設計

TEL.046-250-3978
FAX.046-250-3979

第18回例会のご案内

日時 平成20年11月4日(火) 午後6時より

会場 ロワジールホテル厚木 3階 相模の間

参加費 2000円

講演会 講師 小倉 徳彦 (おぐら のりひこ) 氏

テーマ 「新時代の経営戦略
—激変する政治経済国際情勢にどう対応するか—

- 内容 ■地方経済の今後の展望と企業経営の優位性
- ①経営の基本に還る(入るを計り/出るを制す)
 - ②年金・消費税・為替の変動に対応する経営
- 日本の国策を先取りする事業再構築のあり方
- ①企業文化ではなく企業文明の構築



【講師紹介】

法政大学法学部卒業。法務省矯正局法務事務官を経て、その後民間の会社役員、会社社長を歴任。

平成七年(有)実践総合研究所を設立し、代表取締役に就任し現在に至る。またその一方企業の顧問等も務める。

【著書】『21世紀に生き残る中小企業経営』(リバティ書房)
『労働統計調査月報論文』(労働大臣官房政策調査部)などに論文を発表

第4回懇親ゴルフコンペのご案内

日時 平成20年11月4日(火) 午前9時20分集合

コース 本厚木カンツリクラブ

スタート時間 アウト・インそれぞれ5組ずつ9時30分スタート

参加費 5,000円

申込 定員40名…定員になり次第締め切ります。

申込先 県中央経営者会事務局
〒243-0017 厚木市栄町1-16-15
厚木商工会議所403号
電話 046-296-7010
FAX 046-206-9110
メール kenou-k@tanzawa.or.jp